

- 問1 江戸時代、幕府の財政難を解決する手段として、貨幣に含まれる金の割合をそれまでの約84%から約57%へと大幅に引き下げた「元禄小判」を新たに発行した、江戸幕府第5代将軍の名前を答えなさい。 (2019年 秋田県公立入試 類似)

1. 徳川家光

2. 徳川吉宗

3. 徳川家康

4. 徳川綱吉
- 問2 19世紀初頭、江戸幕府の命により日本全国の海岸線を実際に歩いて測量し、方位や距離を細かく記録することで、きわめて精度の高い実測地図を完成させた人物は誰ですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)

1. 杉田玄白

2. 伊能忠敬

3. 間宮林蔵

4. 最上徳内
- 問3 18世紀後半にフランス革命が起こる中で、国民議会が採択した、自由・平等・国民主権・私有財産の不可侵などをうたった宣言を何といいますか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)

1. マグナ・カルタ

2. 人権宣言

3. 権利の章典

4. 独立宣言
- 問4 江戸時代、全国の物流が集まり「天下の台所」と呼ばれた大阪の川沿いには、多くの船が行き交い、大規模な建物が立ち並んでいました。これらの建物は、諸藩が領地から運んできた年貢米や特産物を貯蔵・販売するために設置したものでしたが、この施設を何といいますか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)

1. 蔵屋敷

2. 札差

3. 株仲間

4. 問屋
- 問5 江戸時代の幕藩体制において、関ヶ原の戦いの前後に徳川氏に従うようになった大名の名称と、その領地の配置の特徴を組み合わせたものとして最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)

1. 外様大名と呼ばれ、江戸から遠い東北や九州などの地方に配置された。

2. 守護大名と呼ばれ、室町時代から引き続いて各地の統治を任された。

3. 親藩と呼ばれ、将軍家の親戚として江戸周辺の重要な領地を与えられた。

4. 譜代大名と呼ばれ、江戸に近い関東や要衝の地に配置された。
- 問6 元禄文化を代表する人物とその活動について述べた文として、誤っているものはどれですか。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)

1. 松尾芭蕉は、各地を旅して「奥の細道」などを記し、俳諧を芸術性の高いものに高めた。

2. 井原西鶴は、町人の生活や欲望をリアルに描いた「浮世草子」を執筆した。

3. 杉田玄白は、オランダ語の解剖書を翻訳して「解体新書」を出版し、蘭学を世に広めた。

4. 近松門左衛門は、実際の心中事件などを題材に、義理と人情の板挟みに悩む人々を「人形浄瑠璃」の脚本に描いた。
- 問7 江戸時代に本居宣長が大成させた「国学」の目的や背景について述べた文として、正しいものを選んでください。 (2024年 高知県公立入試 類似)

1. 仏教や儒教などの外来思想が伝来する前の、日本古来の考え方や精神を明らかにしようとした。

2. 身分制度を否定し、すべての国民が平等であるという民主主義的な思想を確立しようとした。

3. 欧米諸国の科学技術を取り入れることで、日本の近代化を推し進めることを最大の目的とした。

4. 武士が政治を行う正当性を裏付けるために、朱子学に基づいた道徳観を全国に普及させた。
- 問8 江戸時代、町人の生活や流行、歌舞伎役者や美人などを題材にして描かれた新しい絵画のジャンルが確立されました。菱川師宣が手がけた、振り返る女性の姿を描いた「見返り美人図」などの作品に代表されるこの芸術ジャンルを何といいますか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)

1. 水墨画

2. 大和絵

3. 浮世絵

4. 南画
- 問9 江戸幕府が18世紀末から19世紀にかけて、間宮林蔵や近藤重蔵らに蝦夷地や樺太などの北方地域の調査を命じた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 三重県公立入試 類似)

1. イギリスがアヘン戦争で清を破ったことを受け、日本の海防体制を抜本的に見直す必要が生じたため

2. キリスト教の布教を目的とした宣教師が、樺太を経由して日本へ密入国するのを防ぐ必要があったため

3. オランダから提供された情報により、アメリカの艦隊が北方航路を通じて開国を迫りに来ると予見したため

4. ロシアが通商を求めて来航するなど、北からの南下政策を強める動きに対して危機感を抱いたため
- 問10 江戸におけるしょうゆの流通の変化について、1726年と1821年の統計を比較した状況を説明した文として、正しいものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)

1. 18世紀初めには関西地方産の入荷が圧倒的に多かったが、19世紀には関東地方産の生産が拡大し、入荷の主流となった。

2. 18世紀から19世紀を通じて、しょうゆの生産地は一貫して東北地方に集中しており、太平洋の海上輸送が中心であった。

3. 幕府が関西地方産の流入を制限したため、19世紀には江戸へのしょうゆの総入荷量が18世紀の半分以上に減少した。

4. 18世紀には関東地方産のしょうゆが主流であったが、輸送技術の向上により19世紀には関西地方産が市場を独占した。
- 問11 日本の伝統文化が成立・大成した時期と、それに関わった人物や文化の組み合わせについて、時代順に正しく並んでいるものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)

1. 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代）→ 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代）

2. 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代）→ 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代）

3. 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代）→ 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代）

4. 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代）→ 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代）
- 問12 飛鳥時代から江戸時代にかけて、日本史の転換点となった4人の人物（天武天皇、平清盛、北条時宗、水野忠邦）を、活躍した時期が古い順に並べた組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)

1. 天武天皇 → 北条時宗 → 平清盛 → 水野忠邦

2. 天武天皇 → 平清盛 → 水野忠邦 → 北条時宗

3. 天武天皇 → 平清盛 → 北条時宗 → 水野忠邦

4. 平清盛 → 天武天皇 → 北条時宗 → 水野忠邦
- 問13 江戸幕府が実施した、大名の領地配置に関する方針を説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。なお、幕府は反乱を防ぎ、政権を安定させることを目的としていました。 (2024年 福井県公立入試 類似)

1. 江戸に近い地域には有力な外様大名を配置して監視を強め、遠隔地に信頼できる譜代大名を配置した。

2. 徳川氏の親戚である親藩は、反乱を防ぐためにすべて九州や東北などの国境付近に配置した。

3. 江戸に近い地域や交通の要所、京都などの周辺には譜代大名を配置し、江戸から遠い場所に外様大名を配置した。

4. すべての大名を一律の距離に配置し、石高の多い大名ほど江戸の近くに領地を与えた。